

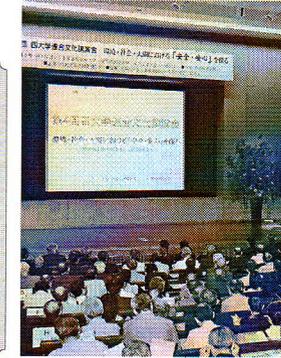
4大学連合（東京医科歯科大学・東京外国語大学・東京工業大学・一橋大学）が主催する文化講演会がこのほど東京都内で開かれた。昨年に続き、4回目の開催になる今回は『環境・社会・人間における「安全・安心」を探る～学術研究の最前線をやさしく解説する～』と題し、4大学の研究所教授4氏が①グローバルな不安の時代の「安心・安全」：伝統と生活文化からの視点②安心・安全の経済学③ペプチドとくすり④ハードウェアに基づく安全と安心（圧縮性流体の計測制御）——の各テーマで学術研究の最前線を解説した。



東京医科歯科大学
生体材料工学研究所教授
玉村 啓和

生体はタンパク質、ペプチド、核酸、脂質、糖などにより構成されている。タンパク質、ペプチドは生命活動において中心的な役割を果たしている。

ペプチドとくすり



ペプチドはタンパク質、ペプチド、核酸、脂質、糖などにより構成されている。タンパク質、ペプチドは生命活動において中心的な役割を果たしている。

「活性が非常に強い」利点生かす ペプチドミメティクス開発促進

ペプチドミメティクスは、生体内で非常に強い活性を示す。その利点を生かすことで、様々な疾患の治療に貢献できる。



東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化
研究所准教授
床呂 郁哉

過去の叡智や社会的役割 宗教的実践の福祉も重要な役割

宗教的実践は、人々の心の安らぎと社会的なつながりを促進する。過去の叡智や社会的役割を学ぶことは、現代社会の発展に重要な役割を果たす。

グローバルな不安の時代の「安心・安全」 ～伝統と生活文化からの視点～

熱帯雨林にすむオランウータン、地元のローカルな生活文化や伝統的な社会規範は、現代社会の不安定な状況下で重要な役割を果たす。



東京工業大学
精密工学研究所教授
香川 利春

日本の新幹線は昭和時代に開発された。その技術は現在でも世界に誇れる。最新の技術を用いて、さらなる発展を目指す。

ハードウェアに基づく安全と安心 ～圧縮性流体の計測制御～

圧縮性流体の計測制御は、航空機や宇宙機の安全運行に不可欠な技術である。最新のハードウェアを用いて、高精度な計測を実現している。

運動や医療、幅広い分野で活躍 トイレの水使用量削減にも貢献

最新のトイレ技術は、水の使用量を削減し、環境に優しい。また、運動や医療分野でも活躍している。



一橋大学経済研究所教授
青木 玲子

買い手と売り手が製品情報共有 法律を損害賠償のルールに活用

消費者と事業者の間で製品情報が共有されることで、消費者の権利が保護される。法律を活用して、公正な取引を実現している。

安心・安全の経済学

安心と安全は、現代社会の重要な価値である。経済学を通じて、その価値を最大化する方法を探る。

企画・制作=日本経済新聞社
クロスメディア営業局